

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公表番号】特表2017-516838(P2017-516838A)

【公表日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-575290(P2016-575290)

【国際特許分類】

C 0 7 H 15/04 (2006.01)
 A 6 1 K 47/26 (2006.01)
 A 6 1 K 9/08 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 K 38/43 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 38/16 (2006.01)
 A 6 1 K 38/22 (2006.01)
 A 6 1 K 38/28 (2006.01)
 A 6 1 K 38/44 (2006.01)
 A 6 1 K 38/46 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 5/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 C 0 7 H 9/06 (2006.01)
 C 1 2 N 9/96 (2006.01)
 C 0 7 K 14/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)
 C 0 7 K 14/31 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 H 15/04 C S P F
 A 6 1 K 47/26
 A 6 1 K 9/08
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 37/48
 A 6 1 K 39/395 M
 A 6 1 K 39/395 W
 A 6 1 K 37/04
 A 6 1 K 37/24
 A 6 1 K 37/26
 A 6 1 K 37/50
 A 6 1 K 37/54
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 5/00
 A 6 1 P 37/02
 C 0 7 H 9/06
 C 1 2 N 9/96
 C 0 7 K 14/00
 C 0 7 K 14/47
 C 0 7 K 14/31

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月13日(2018.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

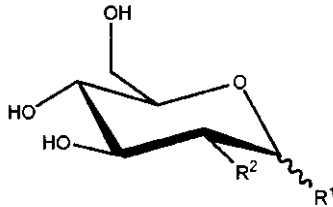
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

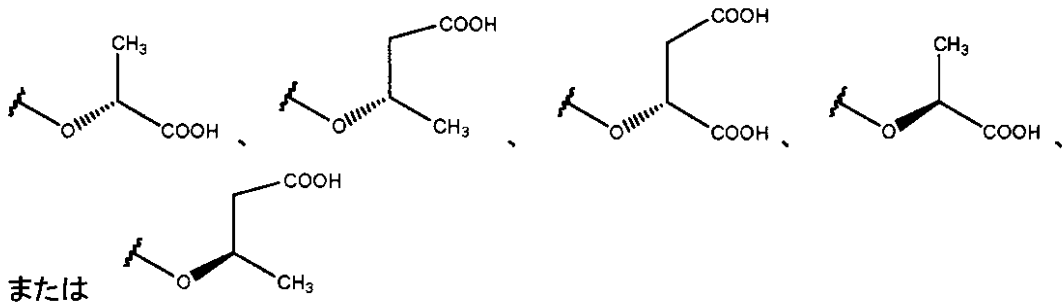
【請求項1】

(A) : 式

【化1】

【式中、R¹は、

【化2】

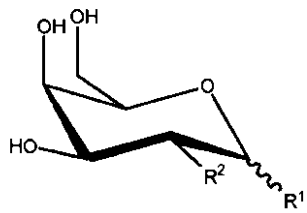


であり、

R²は、-OH、N₃、または - () C(=O)CH₃ である] の化合物またはその塩、

(B) : 式

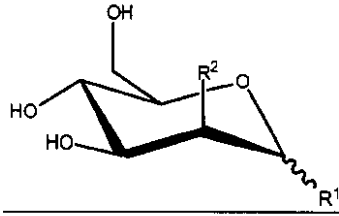
【化3】

【式中、R¹は、-OC() (X) (CH₂)_n C(=O)OHであり、R²は、-OH、N₃、または - () C(=O)CH₃ であり、Xは、-CH₃、-CH₂OH、またはCH₂C(=O)OHであり、

nは、0または1である] の化合物またはその塩、

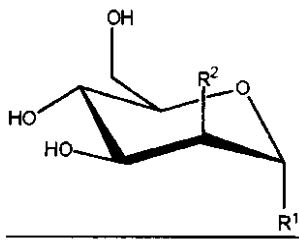
(C) : 式

【化4】

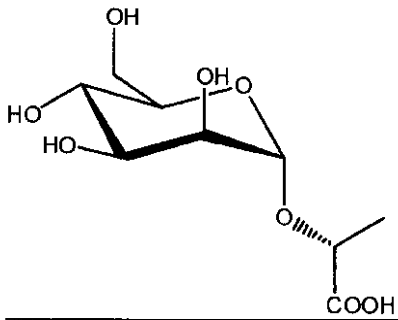


[式中、 R^1 は、 $-OC() (X) (CH_2)_n C(=O)OH$ であり、
 R^2 は、 $-OH$ 、 N_3 、または $-()C(=O)CH_3$ であり、
 X は、 $-H$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH_2OH$ 、または $CH_2C(=O)OH$ であり、
 n は、 0 または 1 である] の化合物またはその塩であって、
 前記化合物が

【化5】

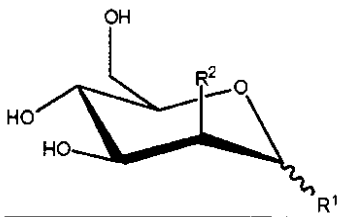


であり、かつ R^2 が OH であり、 X が CH_3 であり、 n が 0 であるとき、当該化合物は、
 【化6】



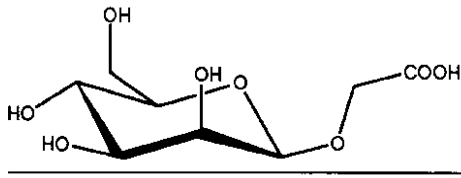
であり；
前記化合物が

【化7】



であり、かつ R^2 が OH であり、 X が H であり、 n が 0 であるとき、当該化合物は、

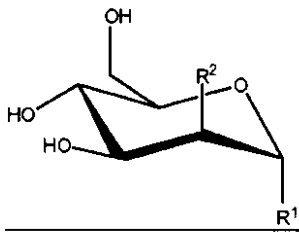
【化 8】



であり；および

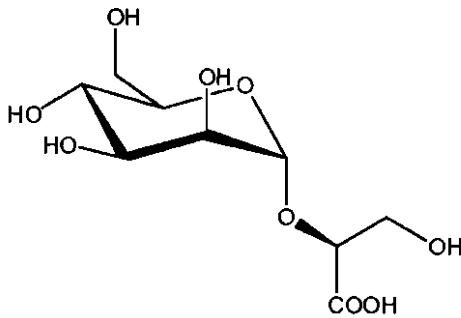
前記化合物が

【化 9】



であり、かつ R² が OH であり、X が CH₂OH であり、n が 0 であるとき、当該化合物は、

【化 10】



である化合物またはその塩。

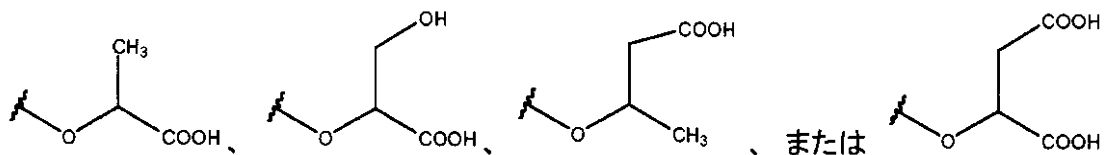
【請求項 2】

前記化合物の / アノマー比は、1 : 1 から 99 : 1 までである、または 99 : 1 より大きい請求項 1 に記載の化合物またはその塩。

【請求項 3】

前記 (B) の式中の R¹ が

【化 11】

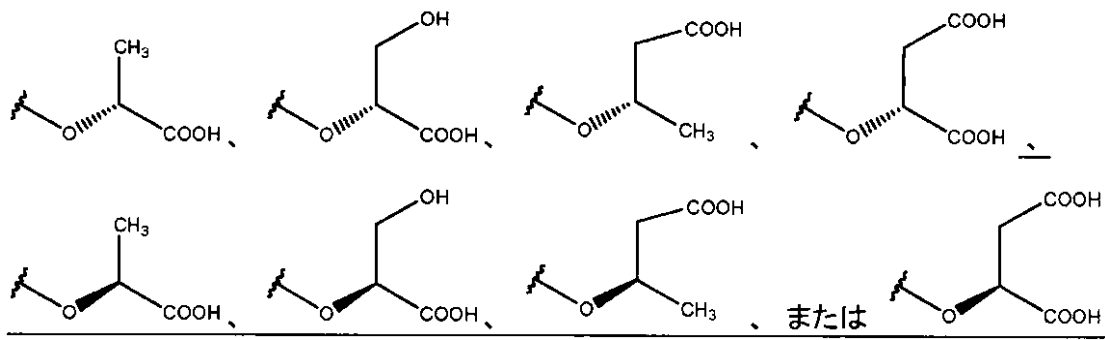


である請求項 1 の化合物またはその塩。

【請求項 4】

前記 (B) の式中の R¹ が

【化 1 2】

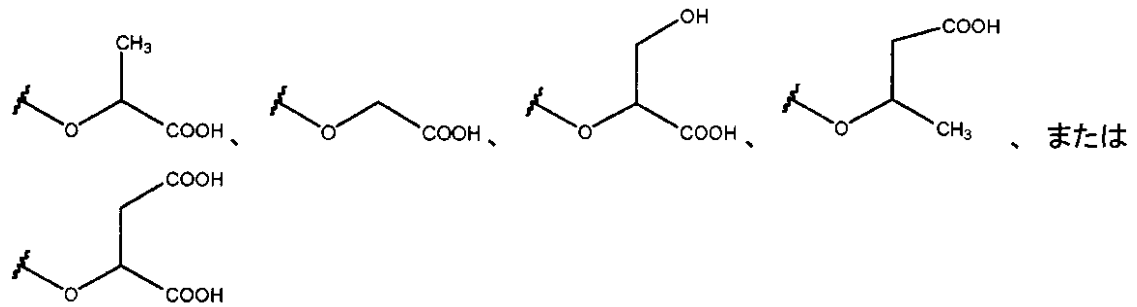


である請求項 1 の化合物またはその塩。

【請求項 5】

前記 (C) の式中の R^1 が

【化 1 3】

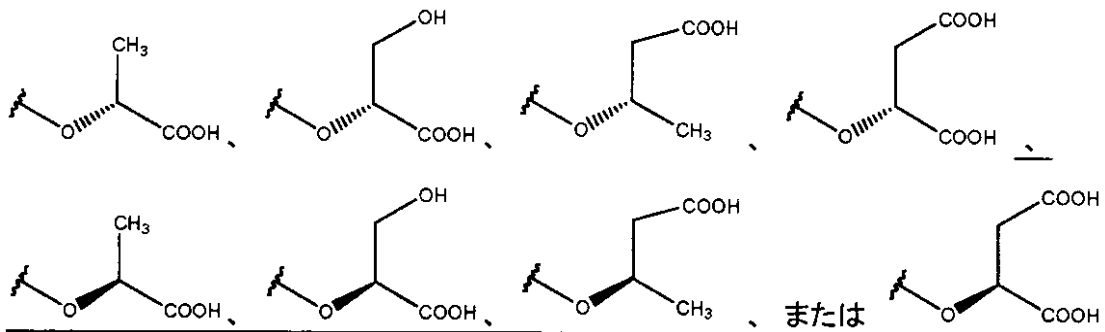


である請求項 1 の化合物またはその塩。

【請求項 6】

前記 (C) の式中の R^1 が

【化 1 4】

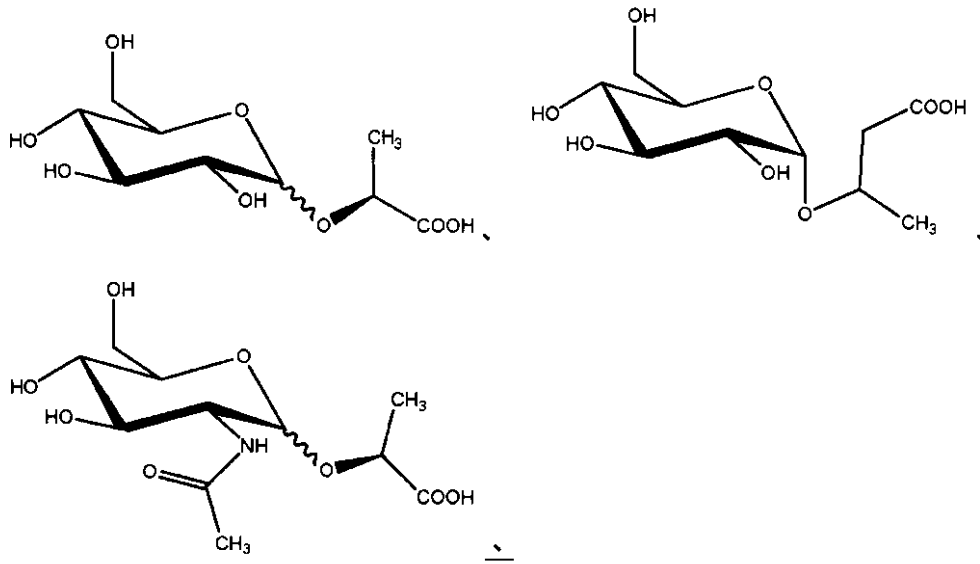


である請求項 1 の化合物またはその塩。

【請求項 7】

前記化合物が

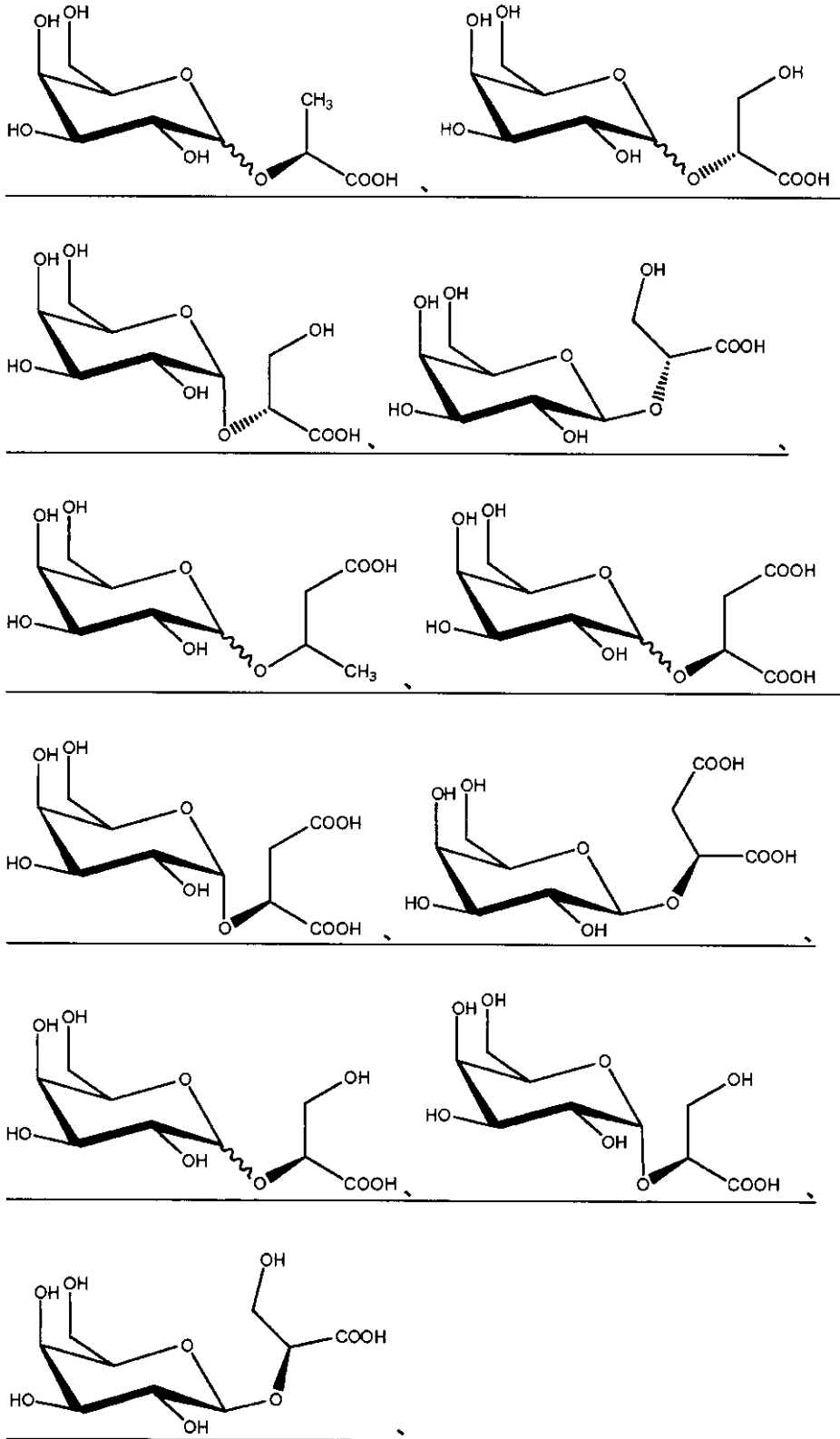
【化 1 5 - 1】



(つづく)

【化15-2】

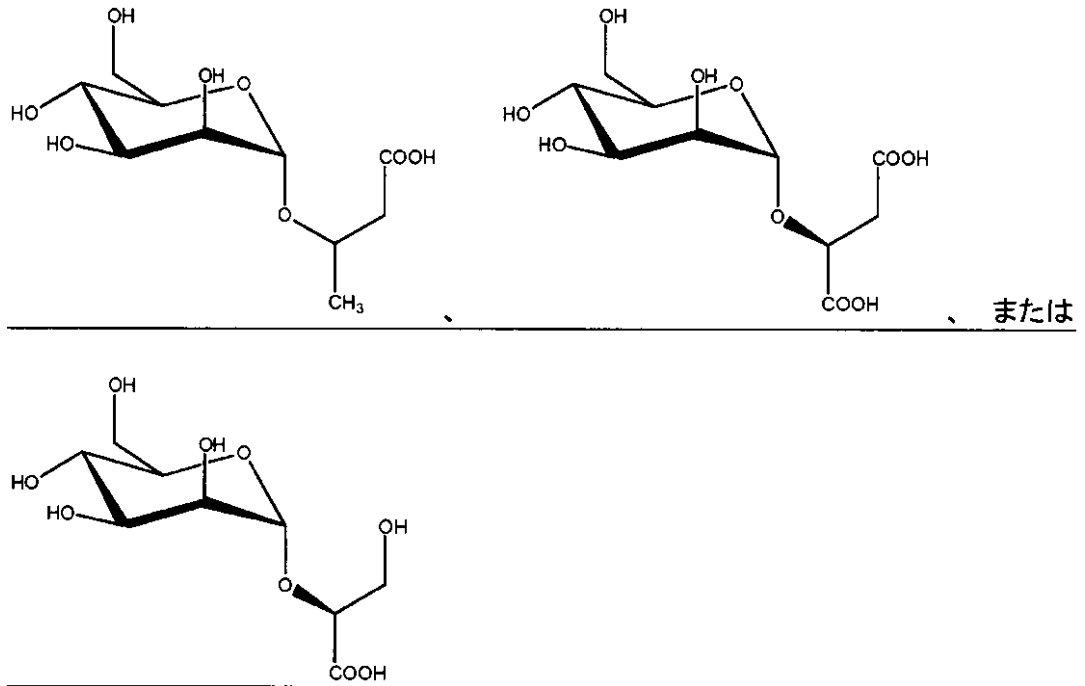
(つづき)



(つづく)

【化 1 5 - 3】

(つづき)



である請求項 1 の化合物またはその塩。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 までのいずれか一項に記載の少なくとも 1 種の化合物またはその塩、および生物学的物質を含む組成物。

【請求項 9】

さらにバッファーを含む請求項 8 の組成物。

【請求項 10】

前記生物学的物質は、ポリペプチドである請求項 8 に記載の組成物。

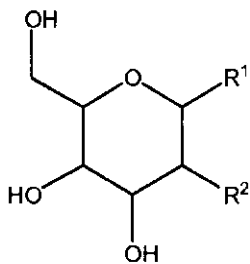
【請求項 11】

前記ポリペプチドは、酵素、抗体、血漿タンパク質、ホルモン、インスリン、リンゴ酸デヒドロゲナーゼ、ブドウ球菌性ヌクレアーゼまたはリゾチームである請求項 10 の組成物。

【請求項 12】

式 I :

【化 1 6】

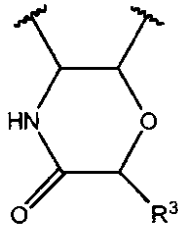


式 I

[式中、 R^1 は、 $-OC() (X) (CH_2)_n C(=O)OH$ であり、

R^2 は、 $-OH$ 、 $-N_3$ 、もしくは $-C(=O)CH_3$ であり、または
 R^1 および R^2 は、それらが結合している炭素原子と一緒に

【化 17】

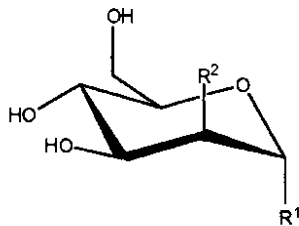


を形成し、

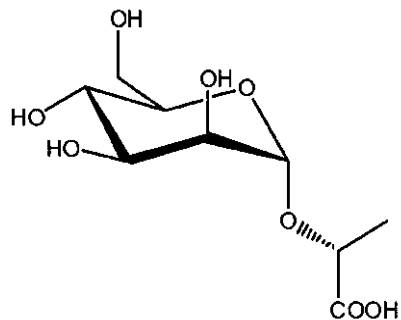
R^3 は、 $-$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH_2C(=O)OH$ 、または $-CH_2OH$ であり、
 X は、 $-$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH_2OH$ 、または $CH_2C(=O)OH$ であり、
 n は、0 または 1 であり；

前記化合物が

【化 18】



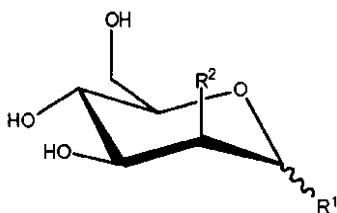
であり、かつ R^2 が OH であり、 X が CH_3 であり、 n が 0 であるとき、当該化合物は、
 【化 19】



またはその塩であり；

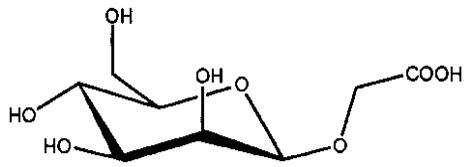
前記化合物が

【化 20】



であり、かつ R^2 が OH であり、 X が H であり、 n が 0 であるとき、当該化合物は、

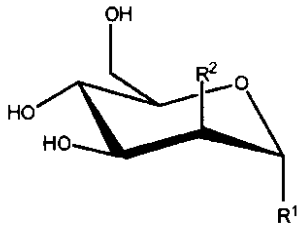
【化 2 1】



またはその塩であり；

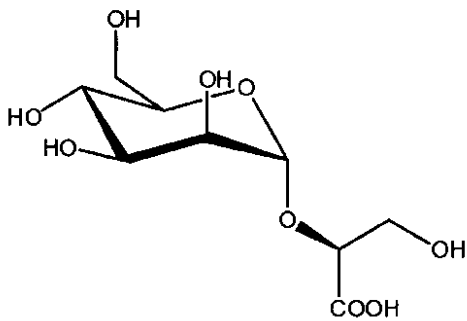
前記化合物が

【化 2 2】



であり、かつ R^2 が OH であり、X が CH_2OH であり、n が 0 であるとき、当該化合物は、

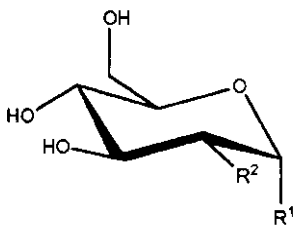
【化 2 3】



またはその塩であり；

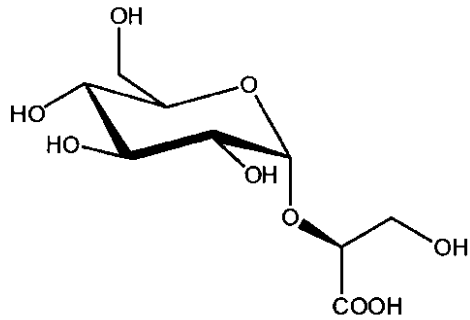
前記化合物が

【化 2 4】



であり、かつ R^2 が OH であり、X が CH_2OH であり、n が 0 であるとき、当該化合物は、

【化 2 5】



またはその塩である]の少なくとも1種の該化合物またはその塩を、生物学的物質を含んでいる溶液へ加えて、安定した溶液を形成することを含む、生物学的物質を安定させる方法。

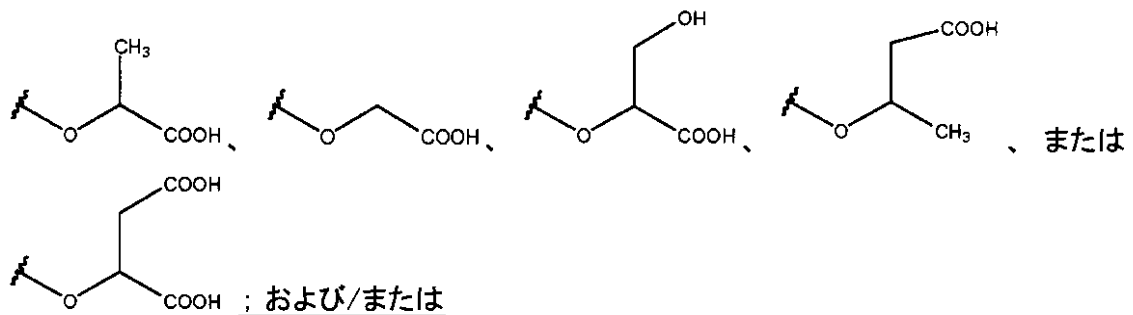
【請求項 1 3】

前記化合物の / アノマー比は、1 : 1 から 99 : 1 までである、または 99 : 1 より大きい請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

(a) R^1 が

【化 2 6】

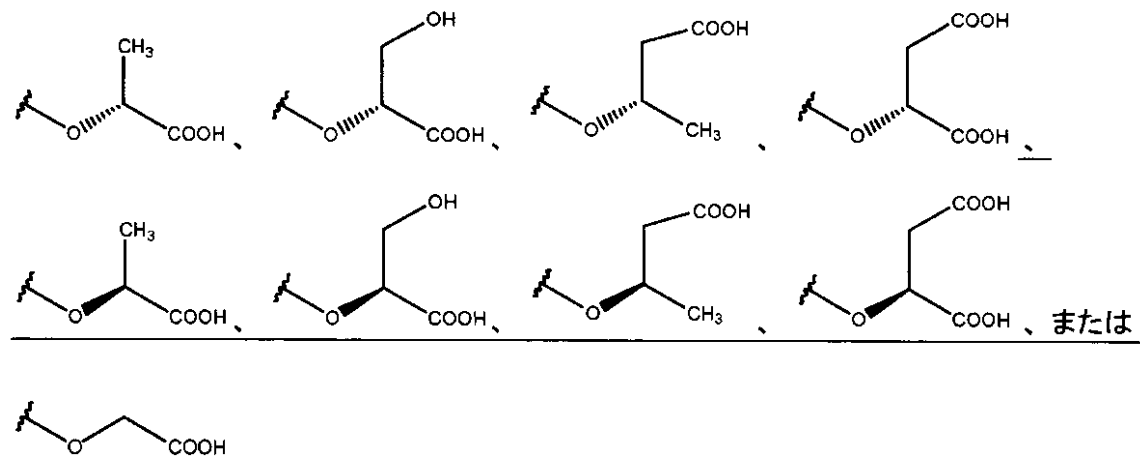


(b) R^2 が - OH、または - () C (= O) C H ₃ である；請求項 1 2 の方法。

【請求項 1 5】

R^1 が

【化 2 7】

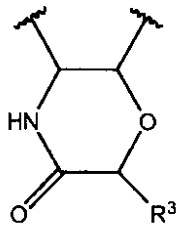


である請求項 1 2 の方法。

【請求項 1 6】

R^1 および R^2 は、それらが結合している炭素原子と一緒に

【化 2 8】



を形成している請求項 1 2 に記載の方法。

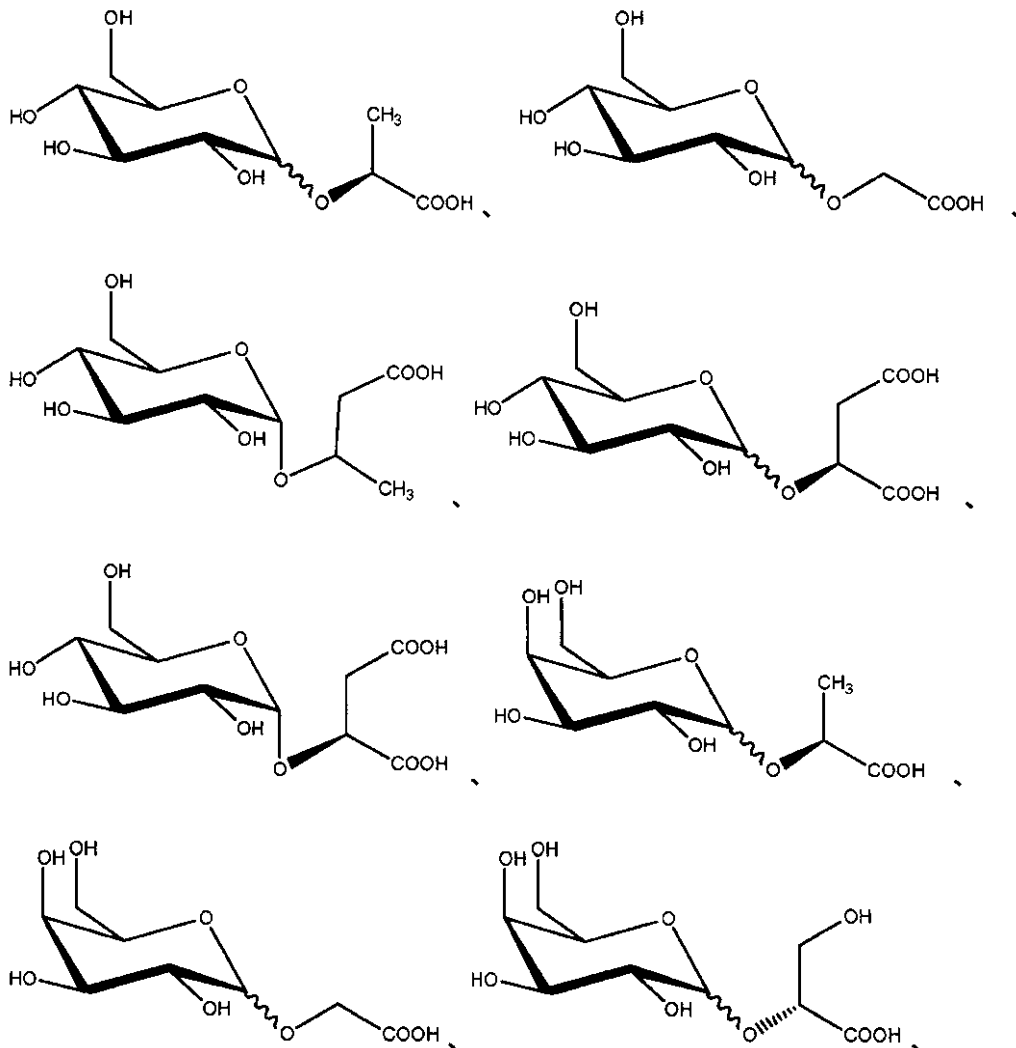
【請求項 1 7】

R³ が -CH₃、または -CH₂OH である請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記化合物は、

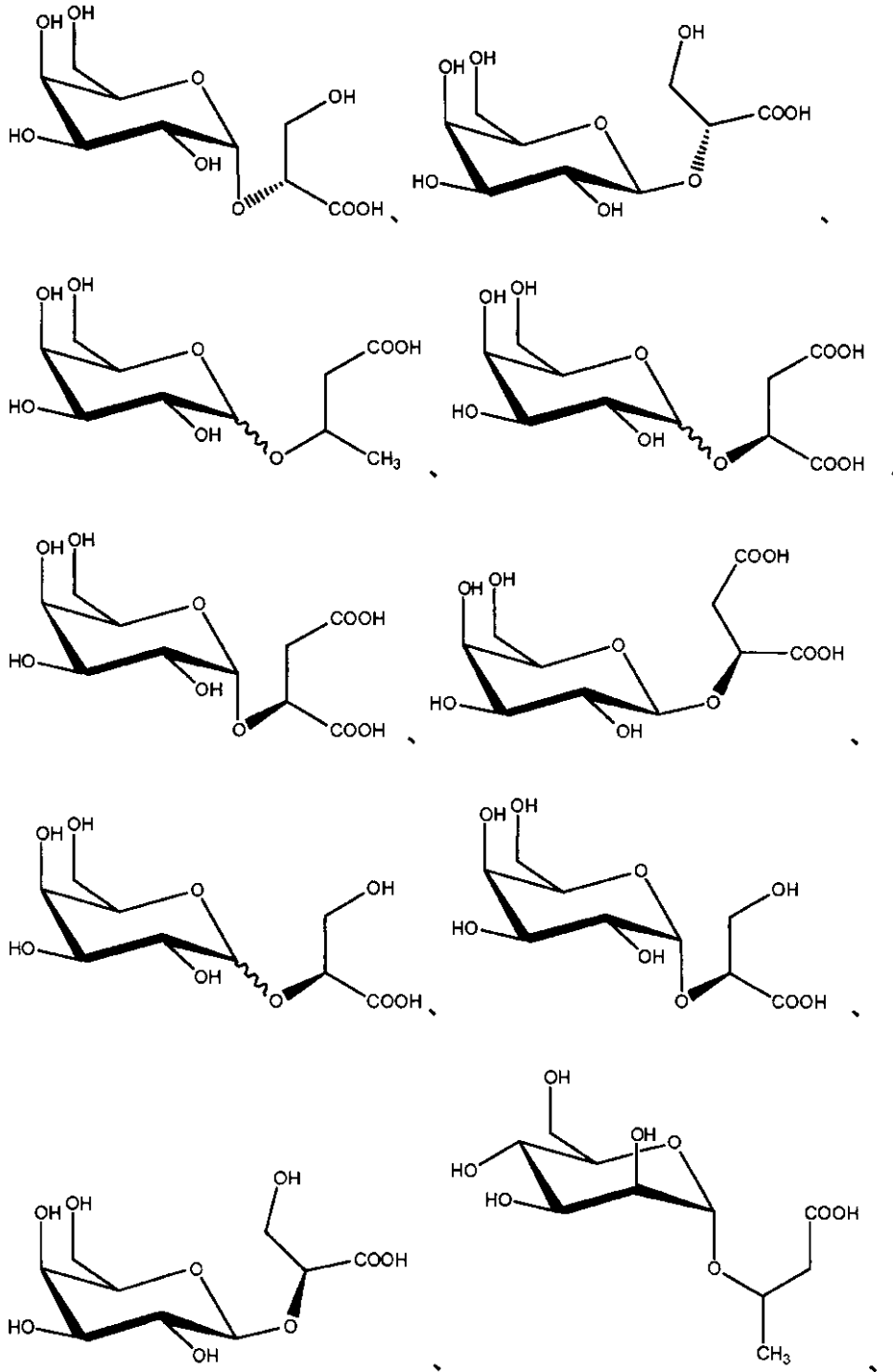
【化 2 9 - 1】



(つづく)

【化 2 9 - 2】

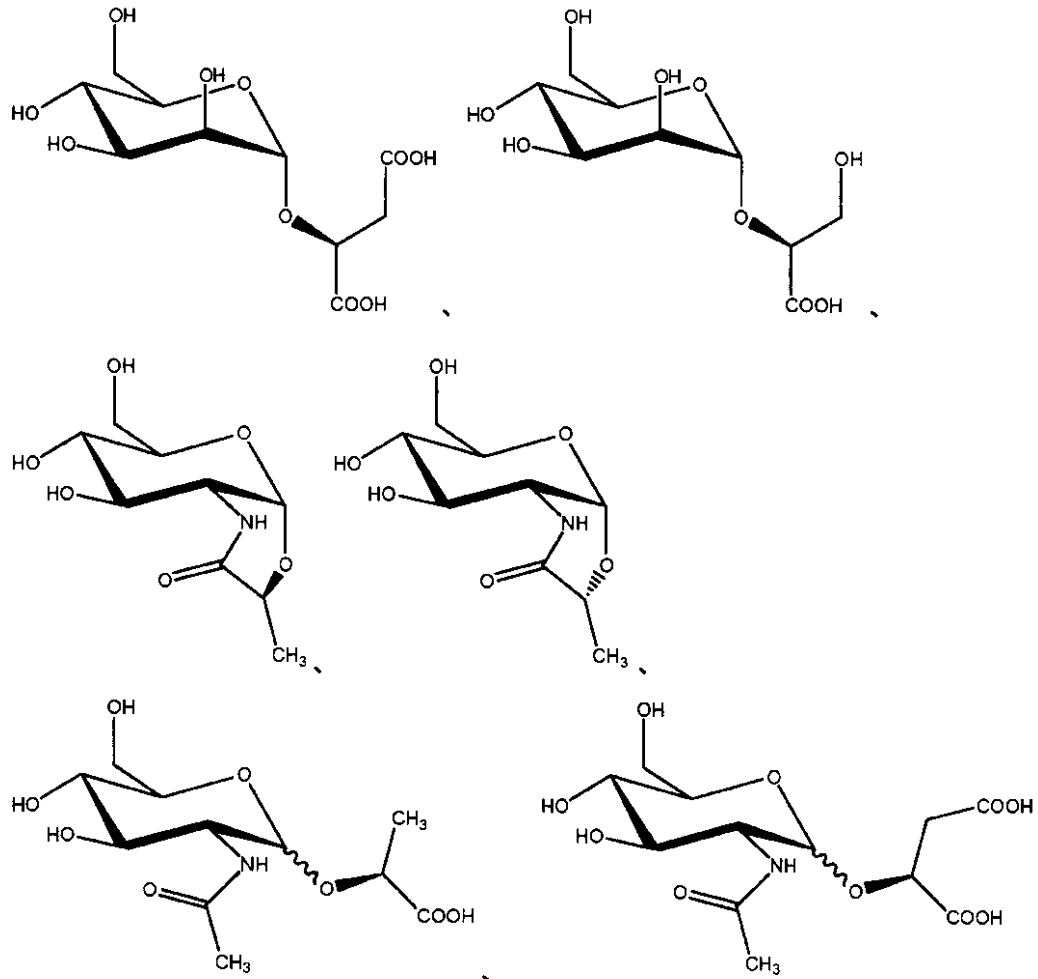
(つづき)



(つづく)

【化 2 9 - 3】

(つづき)



またはその塩である請求項 1 2 の方法。

【請求項 1 9】

前記安定した溶液を乾燥する工程をさらに含む請求項 1 2 から請求項 1 8 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記生物学的物質は、ポリペプチド、酵素、抗体、血漿タンパク質、ホルモン、インスリン、リンゴ酸デヒドロゲナーゼ、ブドウ球菌性ヌクレアーゼまたはリゾチームである請求項 1 2 から請求項 1 9 までのいずれか一項に記載の方法。